

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】平成29年 4月25日(火)

だれもの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への《懸け橋》

No. 1

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

色鮮やかに、草花咲き揃う早春～初夏の季節!! 今年は久しぶりに満開の桜が、各入園(所)式や入学式等で“夢や希望”と併せ、ちょっぴり不安を抱えた子どもたちをも、温かくお出迎えするかのようでした!!

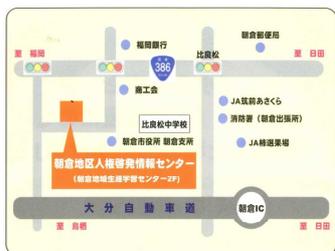


朝倉地域生涯学習センターの駐車場周囲に植えられた桜の花。まるでニコニコと微笑んでいるようで…!!

…あっという間に、もう新緑が目にしむ季節!! 『朝倉地区人権啓発情報センター』は、皆様方の温かいご理解とご協力の中で、設立三年目を迎えることができました!!…



朝倉地域生涯学習センター 2F



### 朝倉地区人権啓発情報センター



飛ばそう・広げよう! 人権の種を  
タンポポの綿毛のように…

(運営)  
朝倉地区人権・同和教育推進連絡協議会

【21世紀は人権の世紀!】  
と言われながら、同和問題を始め様々な人権問題が、まだ数多く発生しています。人権が尊重され“誰もが輝くまちづくり”をめざし、朝倉市・筑前町・東峰村では、広域で協力し合って、朝倉地区人権啓発情報センターを設立しました。これまで培ってきた取組を生かし、人権啓発活動や人権相談対応・人権学習支援・情報提供等に努めてまいります。…

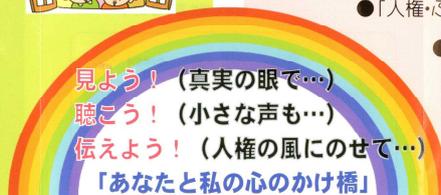
これまで、各市町村の人権組織が連携する取組として、行政・学校・企業・地域等が協力し合い、朝倉地区人権・同和教育推進連絡協議会を組織して各種研修会や実践交流会、人権啓発冊子カレンダー「ひらけ未来に」の発行等を実施してきました。センター設立の経緯を踏まえ、更に取組の充実をめざします!!

朝倉地区人権啓発情報センターでは、皆様一人一人にとって“人権がしっかりと尊重されるまち!”…だと実感できますよう『あなたと私の、心の懸(か)け橋!!』を合い言葉に、“誰もの人権が真に大切にされる!!”確かな歩みをめざしていきます!!

## 朝倉地区人権啓発情報センター事業

### 各種研修会実施事業

- 研修プログラムの開発・提供
- 住民向け研修会の実施及び支援
- 企業研修への支援
- 行政職員研修の実施
- 教職員研修会への支援
- その他、東峰村・筑前町・朝倉市が実施する研修会への支援 など



### 住民啓発事業

- 朝倉地区人権・同和教育研究会の実施
- 啓発冊子カレンダー「ひらけ未来に」の編集・発行
- 「人権・ふれあいフォトコンテスト」の実施
- 企画パネル展の実施
- 人権映画上映会 など



### 人権相談事業

各種人権問題に関するご相談をお受けします。電話相談にも応じます。

**秘密は厳守されます!**  
**お気軽にご相談下さい**

### 情報収集・提供事業

- 人権問題に関する情報収集・提供
- 人権ライブラリー(ビデオ・DVD・書籍)の閲覧、貸出
- ホームページによる情報発信
- 研修会講師の情報収集・提供
- 「住民意識調査」の実施及び分析、活用

※人権ライブラリーに関して、詳しいことは、ホームページをご覧ください。直接センターまでお問い合わせください。

### 各種人権団体・機関連携事業

- 朝倉市人権・同和教育推進協議会
- 筑前町人権・同和教育推進協議会
- 東峰村人権教育推進協議会
- 朝倉人権擁護委員協議会
- 朝倉地区企業内同和問題推進協議会
- 久留米地域人権啓発活動ネットワーク協議会
- その他各種団体との連携



先日 4/24 (月) …朝倉地区人権・同和教育担当者研修会が、北筑後教育事務所(高畑彦)副所長兼同和教育室長や部落解放同盟朝倉地区協議会(深野良二)書記長、福教組朝倉支部(下田哲士)支部長等を迎え、終日、筑前町隣保館で行われました。私の方から、参加者の方々の熱い視線を感じつつ、国や県・世界の動き等を踏まえ、朝倉地区での歩み等について整理し、「同対審答申」「地対協意見具申」「部落差別解消推進法」をポイントに説明させていただきました。(「同対審答申を読む」奥田均著参考)感謝致します…!!

- 研修①…「朝倉地区の学校における人権・同和教育の歩みから」人権セ指導員(大楠茂美)
- 研修②…「県における差別事象と 担当者に期待すること…」朝倉地協書記長(深野良二)
- 研修③…レポート討議(参加者相互の交流会)



朝倉地区における人権・同和教育の歩みを、“短冊カード”を使って整理してみました…。

だれもの“人権”が尊重される  
「まちづくり」への《懸け橋》

No. 2

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

早朝ジョギング帰り、一面、黄金色に実った麦畑、新緑が目映いばかりの山々、抜けるような空の青さが清々しく広がっていました。春から初夏へと季節が移ろう中、ふっと“人が人として理解し合って生きる、ともに生きあう日が当たり前の社会に!!”という想いが、胸を突き上げるように溢れてきました。…

“豊かな自然”とともに、誰もがみんな、生まれてきた喜びを感じ合える《おらがまちづくり!!》



中牟田小：3年生57名（5/9実施）



★朝倉地区の4小学校で『人権の花』運動の開会式が行われました。子どもたちが協力し合ってヒマワリを栽培し、思いやる心・生命を大切にする心・情操を豊かにする心を育み、豊かな人権感覚を育むことを目的とした朝倉人権擁護委員協議会の取組に、人権・同和対策課や朝倉地区人権啓発情報センターも一緒に参加させてもらい、「①太陽に向かってスクスクと真っ直ぐに伸びるヒマワリのように、いつも明るく元気に自分を大好きに、友だちと仲良くできる人になってほしい!! ②栽培を通じて“生命の大切さ・

志波小：全児童26名（5/12実施）



協力することの楽しさ・育てる喜び”を知ってほしい!!”という話と併せて、…最後に、ヒマワリに生命の大切さを託された本「あの日を忘れない はるかのヒマワリ」「ヒマワリのおか」を紹介させていただきました。

蟻城小：3年生9名（5/24実施）



三奈木小：4年生22名（5/25実施）



4校の子どもたちは自分たちで開会式や種まきを進行し、「ヒマワリのように伸びていきたいです!!」など感じたままに、自分の言葉で発表してくれました。これからが楽しみです。

## 種をまこう

種をまこう 種をまこう

心の中に種をまこう

私の心 あなたの心

みんなの心に 種をまこう

生まれたばかりの 柔らかい心に

「人権」という名の 種をまこう

そして、

「思いやり」という名の 水と

「愛」という名の 栄養を

たっぷりたっぷり 注いであげよう

みんなの「笑顔」という名の

陽(ひ)をあびて

きっと 芽が出る 花が咲く

やがて、

大きな幸せの実が みる

～（朝倉人権擁護委員協議会より、各4小学校に配布された資料より抜粋）～

### 朝倉市みんなの人権セミナー①

(5/26) 19:00～P ポート甘木 2F

#### テーマ【子どもの人権】

講師…県警中央サポートセンター

少年育成指導官 大塚知恵さん

題…「子どもたちの心を見つめて」

～気付いていますか？

子どものSOS～

肯定感（自分の存在を肯定的にとらえ、自分を好きになること）を高めるきっかけに…と、子どもたちの発するSOSの現状から切々と伝えられていました。



竹灯籠の灯が川面に写り始める頃、  
ホタルの光に、あちこちから歓声が…!!

「問題行動を起こす子どもたちは、心の根っこにSOSを抱えています。」と話し始められた大塚さん。子どもたち自身、自分が愛されて生まれてきたと感じることができなくて、やけになり…。「困った子」ではなく「困っている子」、「頑張れ!頑張れ!」から「頑張っているね!」という共感的受容が、子どもたちの自己

5/27（土）、金川校区黄金川上流の付近（新会場）で、【ホタル祭り】が開催されたそうです。きっと、多くの方々に賑わったことでしょう。日本で唯一、黄金川にしか自生しないスイゼンジノリは、自然環境のバロメーター!! ホタルも飛び交い、老若男女の笑顔で溢れていたことでしょう。…自然環境や地域資源等との共

生の取組が、各地域の方々のご理解・ご協力で、積極的に行われています。

こうした「おらがまちづくりを自らの手で」という熱い想いの取組とともに、誰もが人として互いに認め合い、他人事ではなく自分のこととして《人権尊重に根ざした地域社会》を築こうとする私たち一人一人の確かな歩み（後ろ姿）が、次世代を担う子どもたちの心にも、きっと受け継がれていくことでしょう!!

だれもの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への《懸け橋》

No. 3

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

梅雨入りしてもあまり雨が降らず、田植えを心配しましたが、久しぶりに恵みの雨…!!?

蒸し暑い真夏の季節も、もうすぐ本番です。

外出時の時間帯に配慮したり、ひさし付き帽子の活用、定期的な水分補給、タオル等の準備をされて、熱中症等への十分な対策を…!!



早苗（さなえ）がそよ風にゆれ、  
とっても気持ちよさそうでした!!

6/2（金）《福岡県人権啓発センター等連絡協議会》が朝倉生涯学習センターで開催されました。県下各地 25 名が参加し、同和問題啓発強調月間の取組や、各センターの課題について質疑・意見交換等を行い、今後の取組の充実に向けて有意義な会議になりました。事前に集約された議題は、以下の3点です。

会議の冒頭、開催担当の朝倉地区人権啓発情報センター：中山センター長から、歓迎と当センター紹介等の挨拶が…。



～【参加された機関】…9機関～

- 福岡県：人権・同和対策局 調整課 / (公財)福岡県人権啓発情報センター
- 北九州市：保健福祉局 人権推進センター / 人権文化推進課
- 福岡市：人権啓発センター
- 久留米市：人権啓発センター / 人権担当部
- 小郡市：人権教育啓発センター / 人権・同和対策課
- 田川地区：田川地区人権センター
- 古賀市：人権センター
- 朝倉地区：朝倉地区人権啓発情報センター

○議題1…「インターネット上の差別情報の把握と対応」等について

法務局等と連携を密にし、プロバイダへの早急な削除依頼要請など、適切に努める。

○議題2…「部落差別解消推進法」の取組について

- まずは行政職員全員への周知徹底を図る。
- ホームページアップや広報掲載、講演会でのチラシ配布等住民への啓発に努める。

○議題3…講演等の集客力アップのための企画力向上・効果的な広報物の作成方法等について

- 講演会の案内チラシについて、必要に応じコンペ（民間）を活用。
- 他の担当（例えば福祉課の「高齢者外出促進事業」）との連携。
- 「ひらけ未来に」カレンダー作成を通じた資質向上、啓発。…





編集委員（11名）が取り組みたいこと、伝えたいこと等…今日的課題を分担し、原案を考え、誰を対象に、どんな目的で、何を伝えたいのか…等の論議を始めたところです。また、必要に応じて、専門家のアドバイスも参考にするなど、会を重ねるごとに、私たち自身の“同和問題や様々な人権問題に対する認識”を深める大切な“場”になってきています。今後も、活用したい!! 活用してよかった!! …そう言っていただける『ひらけ未来に』を、めざしていきます!!

来年度に向けた人権啓発冊子カレンダー『ひらけ未来に』作成もスタート!!



- ・5/18（月）編集委①【目的の共通理解】
  - ・5/18（木） 〃 ②【各自の課題検討】
  - ・6/26（月） 〃 ③【原稿審議開始～】
- ※ 今後、審議等を重ね、12月に完成予定!!

★『朝倉地区人権啓発情報センター』に、阿蘇市コミュニティセンターより視察がありました!! 【6/29（木）13:15～15:00 杷木人権啓発センター】



★杷木人権啓発センター：赤星館長の説明に、熱心に聴き入られる14名の皆さん…!!

4月当初、阿蘇市コミュ担当者から「視察をお願いしたい」という旨の問い合わせが…。《近隣市町村が連携し、広域の人権センター設立…》といった内容を、当センターのホームページで見て、ぜひ学習させて欲しいとのこと。阿蘇市コミュでは周辺地域との連携をめざし、『交流促進講座』の受講生12名と事務局2名の方々が、杷木人権啓発センターに来館されました。中山センター長より歓迎挨拶の後、以下の内容で視察研修会を実施…。質疑・意見交流の中で、受講生から「学校に勤務していた頃の、ある子どもの言葉が忘れられない」という話が…!! 自転車に名前を書いてほしいとの依頼。始めにその子の住む地区名を書こうとしたら、「書かないでっ!!」という子どもの声にハッ

- 当センターの概要説明（櫻木センター次長より）
- 杷木人権啓発センター等の取組（DVDの視聴後、赤星館長の補足説明〈ワークショップによる住宅改良事業の取組〉と意見交換



して、差別の現実を痛感させられたそうです。…“子どもの声”に、今も、真摯に向き合っている姿に、心打たれました…!!

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】平成29年 7月24日(月)

だれもの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への《懸け橋》

No. 4

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

**今回の福岡・大分 記録的豪雨!! 私たちのふるさと…生活、  
かけがえのない生命(いのち)、言葉にならない悲しみが…。  
その中で、被災された方々同士の助け合い、周りの人たちの  
支え合い、日本中に、ボランティアの“輪”が広がっています!!**



記録的豪雨…!! 7/5 (水) 午後  
6時59分頃、杷木インター入  
り口付近で撮影。水没した車  
から無事に救助された男性!!

孤立状態…!! 7/6  
(木) 午前0時17分  
撮影。1時間に129  
ミリという豪雨で  
冠水した蟻城地区。  
救命ボートで懸命  
に救助する人たち!!



「たつきつける<sup>もうれつ</sup>猛烈な雨は、<sup>またた</sup>瞬く間に大量の  
濁流<sup>だくりゅう</sup>となり街を、集落をのみ込んだ。7/5 (水)、  
九州北部は豪雨に見舞われ、福岡・大分県で 43  
万人を超える住民に避難指示が出されました。

【7/6 (木) 西日本新聞: 朝刊記事と写真から抜粋】

この日、田川郡川崎町から八丁峠回りの帰り道。  
午後四時過ぎに持丸付近の大平トンネルを抜けた直後から車が全く動かず、ただごとではない

事態…。その後、飛び込んでくるニュースに、被災された皆様のご無事を一心に願うばかりでした。心より、お見舞い申し上げます。

今回の災害に際し、懸命な捜索にもかかわらず、ご無念にもお亡くなりになりました方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。現在もなお、行方不明の方々の捜索が懸命に行われております。一日も早く発見されますことを、切に、切に…願っています!!



7/5 (水) 午後8時前に撮影。浸水  
する濁流を避け、松末小校舎3階  
に…助け合って避難した人たち!!

## “3000人 被災地の力に!!” 九州豪雨の被災復旧作業に…と、地元球児・外国人・熊本からも、多くのボランティアが…!!



炎天下でボランティア活動する女性。7/15（土）午後三奈木付近で撮影。【7/16（日）西日本新聞朝刊より】

「三連休（7/15-17）に入り、九州豪雨の被害を受けた朝倉市、東峰村、日田市などには、復旧作業のため約 3000 人ボランティアが駆け付けた。地元の高校生、熊本地震の被災地の人たち、日本で暮らす外国人。…共通するのは『恩返ししたい』という思い!! 被災された方々が少しでも前向きになれるよう、うだるような暑さの中、民家や庭等にたまった土砂を懸命にかき出した…。」という記事が、7/16（日）西日本新聞朝刊に記載されました。

今度は、“自分たちが支える番!!”という思いとともに、同じ人として、だれもが幸せをめざす、同じ仲間として、互いに支え合おうとする自助・共助【人間尊重】の精神が、しっかりと根っこに広がっているからこそ、こうした動きが生まれてくるのでは…と、思わずにはいられませんでした。



7/16（日）午前9時頃、東峰村ボランティア受付の様子。各県から本当に数多くの方々。当日は、約300名の“熱い思い”が集って…!!

これは東峰村のボランティア受付会場となった東峰学園運動場の様子です。各県ナンバーの車、車、車…。初めて出会った方々が 10～15 名のグループに分かれ、要請のあった民家等で、たまった土砂のかき出しや後片付けなど力を合わせて、作業に没頭している姿に、思わず涙が流れました。長崎県大村市から駆け付けられた防災担当者、三連休で名古屋

市よりちょうど帰省されてあったご夫婦（小郡市在住）など、数多くの方々の、ひたむきな姿に頭が下がりました!!…

～“朝倉”のシンボルである三連水車が、復興の証(あかし)として「キークルクル」と心地よい音色を立てて回り始め、豊かな田畑を潤す日をめざし…少しずつ前に!!～



流木の後片付けも始まり、多くの方々の温かさに後押しされ復興の足音が…!!

【朝倉地区人権啓発情報センターだより】 平成29年 9月 6日(水)

みんなの“人権”が尊重される  
『まちづくり』への《懸け橋》

No. 5

発行：  
人権啓発指導員  
【大楠 茂美】

**突然の大雨が山の土砂を崩し、樹木を流し濁流となって、集落をのみ込んだ九州北部豪雨災害から二ヶ月。朝倉地区のシンボルでもある三連水車が、再び力強く「キークルクル」と回り始めました。復興への“願い”が、響き渡るかのように…!!**



水車にひっかかった木々や水底に溜まった大量の泥が、“復活”の一心で取り除かれ、力強く回り始めた三連水車。

再び、朝倉の大地に“生命(いのち)の水”を、私たちの心に“生きる光”を届けてほしい!!…と願っています。



“チークカラー”グループによる励ましコンサートでは、思わず…涙ぐんで聴き入られている姿がありました!!…

【避難所になっている朝倉町生涯学習センター1階ホールにて17:00～18:00】

立ち上がる気力も失せてしまうほどの大きな悲しみや不安の中で、全国からの励ましやボランティアの人・人・人…。その想いが、再び前を向き動き始めようとする私たちに、どれほど大きな“元気と勇気…!!”を届けてくれていることでしょう!! この二ヶ月を振り返り、改めてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、ご遺族の皆様にご挨拶申し上げます。

また、被災されました皆様にお見舞いを申し上げますとともに、未だ行方不明の方の帰りを待ち続けておられるご家族が、一日も早く再会できますように…!!

夕方から始まったコンサートは、力強く温かな歌声が響き渡り、参加された方々の心に染み込むような歌ばかりでした。

その中でも、オリジナル曲『言葉♪』は、哀しみを受け止めて立ち上がろうとされている、皆さん方の心に響いているようでした…。



言葉 作詞・作曲  
「チーク・カラー」

優しい言葉は 太陽のように  
冷え切った心を 温める  
厳しい言葉は 海のように  
揺らいだ心を 落ち着かせる…

楽しい言葉は 虹のように  
つなぐ心に 橋を架ける  
嬉しい言葉は 月のように  
曇った心に 光…差す

あなたの言葉に 励まされ  
あなたの言葉に 涙する  
あなたの心を 真っ直ぐに  
伝える勇気が 言葉になる

守りたい人が いるのなら  
届けなさい あなたの声を  
助けたい人が いるのなら  
伝えなさい あなたの愛を

信じなさい あなたの言葉  
あなたの言葉が 響くとき  
私の心に 花開く



たしか、あのとき…今、振り返ってみると、7/5(水)の朝、心配だったのは…

- ・前日(7/4)の朝、長崎市付近に上陸した台風3号のこと
- ・前々日(7/2)の深夜、阿蘇地方で発生した震度5弱の地震のこと…だった。

長崎～和歌山と横断し通り過ぎていった台風は、大きな被害を出すこともなく、ホッとしていたのに…、聞き慣れない“線状降水帯”が朝倉市付近に居座って、…7/5のお昼過ぎ、突然迫ってきた大雨～豪雨～土石流に、なすすべもなく…ただ、ぼう然とするしかできなかつた。…降り続ける大雨。あっという間に水かさを増し続ける河川。…そして、あふれ出した豪雨でもたらされる大量の泥、転がって流れる石、そして、途方もない流木の数に、だれもが言葉をなくしてしまった!!…こうした未曾有の大災害が身近に起こることを、だれが予想できただろう?…

誰もが祈りつつ、必死に難を逃れようと声をかけ合い、寄り添い合った“あの時”から、あっという間に二ヶ月…

そして、今、立ち上がっていくしかない…と、折れそうな心を奮い立たせながら、みんなが歯を食いしばり、今日を生きている、生かされていることに、心からありがとう…!!



十年ほど前、とても落ち込み、身も心も閉じこもっていた頃に出会った詩が、折れてしまった心を、もう一度…と思わせてくれた、大きなきっかけに…!!

「生きる…やうに(やう)」

生きるってことは…  
前にしか  
進めないこと  
受け入れると  
笑って 強く  
生きて…

伯耆田 (ほうきだ)  
Hiromi 作

「前にしか進めない… (あるがままを) 受け入れて…強く生きていかなければ…」という、生きていく中での“真理”を通して、誰もが“人として生き…、人として生かされている…”ことに気づかされたように思います。